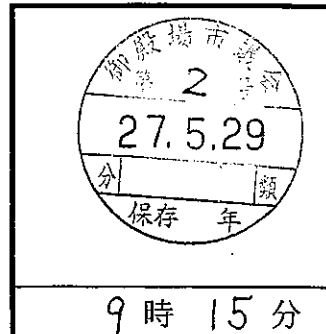
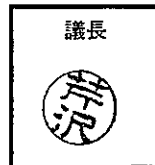


発 言 通 告 書

次のとおり発言の通告をいたします。
平成27年 5月29日



御殿場市議会議長 様

御殿場市議会議員 18番 山崎 春俊

9時 15分

発言の種別 ① 一般質問(一括質問一括答弁方式 一問一答方式) ※ 選択制
2. 代表質問 3. 緊急質問 4. 質疑 5. 討論

質問事項1 当市の小中学校教育の実情と課題について

具体的内容 昨今、全国学力・学習状況調査に対する関心が高まり、広く知られるようになると、学校や教師に対しての教育力、指導力が問われるようになった。

また、小中学校の道徳を、「特別の教科 道徳」として正規の教科に位置付ける動きもあることから、以下2点について質問する。

質問

- 1 当市における全国学力・学習状況調査の結果の検証と分析について伺う。
- 2 当市における道徳の教科化に向けての取り組みと課題について伺う。

質問事項2 選挙権年齢18歳への引き下げに伴う当市の取り組みと課題について

具体的内容 本年4月12日に執行された静岡県議会議員選挙では、当市の投票率が43.17%となり、前回と比較すると4.75ポイント下回った。今や投票率は70年前の半分とまで言われ、中には戦後最低の投票率を記録した自治体もあった。

このような中、国は選挙権年齢を現在の20歳から18歳に引き下げ、早ければ来年夏の参院選から導入するとしている。これを踏まえ、以下3点について質問する。

質問

- 1 当市の18歳、19歳の対象者数と、全有権者に対する割合について伺う。
- 2 若年層の投票率向上を目指しての、当市の啓発活動と課題について伺う。
- 3 新たに選挙権を得ることになる高校生等を、選挙事務や立会人などへ起用することへの当市の見解について伺う。